



# 札幌市 生物多様性 レポート

令和  
3年度

Biodiversity  
Report  
in Sapporo-city

## 目次

生物多様性さっぽろビジョンの概要	2
札幌市の取組	3
生物多様性 Q&A	8
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理	8
目標値に対する評価	8
今後の取組	8

札幌市

札幌市は、平成25年3月に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、深刻な地球環境問題となっている生物多様性の保全のため、さまざまな取組を進めています。

札幌市生物多様性レポートでは、令和2年度の取組について報告します。

## 生物多様性さっぽろビジョンの概要

私たちが暮らす札幌市では、これまで6,000種以上の動植物が記録されており、生き物同士は、食べたり、食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。

このように様々な生き物が存在し、それぞれが繋がっている状態を表すのが「生物多様性」という言葉です。この生物多様性の喪失は、世界中の生物多様性に依存している私たちの暮らしに大きな影響を与えます。

市内には、絶滅の恐れのある野生生物のリストである「札幌市版レッドリスト」(※1)に掲載されている生き物が297種生息しており、都市化に伴う生息・生育環境の縮小、気候変動、外来種(※2)の影響などにより、そういった希少な生き物への影響が懸念されています。

そのため、札幌市では生物多様性の保全に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち さっぽろ」の理念のもと、市民、NPO、事業者、大学などのあらゆる方々と協働し、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直し等を進めていきます。



### ※1 「札幌市版レッドリスト」とは

「レッドリスト」とは絶滅の危険度を科学的、客観的に評価してまとめた絶滅のおそれのある野生生物のリストのことを言います。

これは、札幌市が進める生物多様性の保全に必要な対策の基礎資料や、環境影響評価や各種施策における保全事業等にも活用され、公表することで生物多様性保全に対する意識の醸成を図るとともに、取り組みへの意識向上を図る効果も期待されます。



▲札幌市版レッドリストのページ

### ※2 外来種とは

人間の活動に伴って、それまで生息していなかった場所に持ち込まれた生き物のことを言います。

外来生物法では、生態系、人の生命・身体、農林水産業に悪影響を及ぼす侵略的な外来種を「特定外来生物」として指定し、飼育、運搬、輸入等を規制しています。

また、北海道でも北海道生物の多様性の保全等に関する条例に基づき「指定外来種」を指定しており、適切な飼養や野外に放つこと等を禁止しています。



◀外来種にご注意！のページ



## 札幌市の取組

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、生物多様性に対する理解の促進及び保全に向けた行動の実践を推進するため、さまざまな取組を進めています。

札幌市の鳥は、  
わたくしカッコウなのです。  
生物多様性について  
一緒に考えてみるっこー!

札幌市の生物多様性  
PRキャラクター  
カッコウ先生



## 生物多様性の保全

自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

生物多様性推進事業（環境局 環境共生担当課 TEL 011-211-2879）

### さっぽろ生き物さがし2020

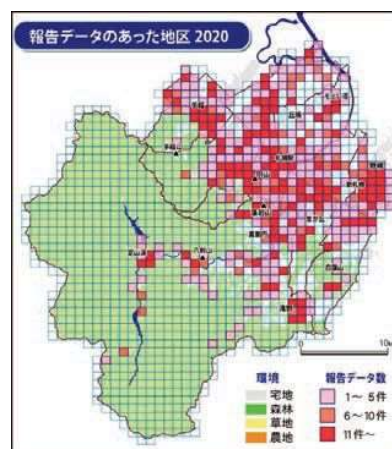
理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成25年から毎年、市民参加型の生き物調査「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」を実施しています。令和2年度は6月19日～9月30日にかけて、オシドリやガマなど札幌市の「指標種」を含む約30種を対象として開催しました。

調査には324チーム1,383名が参加し、総データ数は5,370件になりました。調査によって得られた結果は毎年蓄積し、市内の自然環境の変化の把握に活用しています。



▲参加者から寄せられた生き物写真（人気投票によって選ばれた上位のもの）



▲令和2年度報告データのあった地区

### Web企画展「さっぽろいきものがたり～知ろう！考えよう！私たちにできること～」

理解 協働 継承

身近な自然を通じて生物多様性を考える普及啓発事業の一環として、令和2年8月8日～令和3年1月31日にWeb企画展を開催しました。

「ヒグマと人」「希少種と外来種」「気候変動と生き物」をテーマに特設サイトを製作し、例えば、「ヒグマと人」のページにはヒグマの生態や特徴、札幌市の対策に関する解説と、それらをわかりやすく説明する動画コンテンツを掲載しました。

なお、動画コンテンツは札幌市広報部のYouTubeチャンネルで公開しました。開催期間中、延べ2,608名の方よりアクセスがありました。



### 生物多様性・脱炭素社会ウェビナー

理解 協働 継承

生物多様性保全への関心が高い企業や脱炭素社会への対応を目指す企業への情報提供とさらなる意識向上を目的として、生物多様性の保全と脱炭素社会をテーマにした企業向けウェビナーを開催しました。

基調講演「フィールド研究者が見て感じた気候変動による野生生物の変化」のほか、札幌市から「札幌市気候変動対策行動計画(案)について」の解説、札幌市内の企業から「ほくでんグループの環境保全への取組み」、「イオン北海道の脱炭素への取組み」、「北洋銀行が考えるSDGsと環境保全への取組み」として、生物多様性や気候変動に対応した取組みの具体的な紹介がありました。当日は52名の参加がありました。

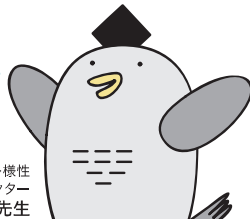


## 令和2年度自然環境調査

理解 継承 活用

「生物多様性さっぽろビジョン」で定める5つのゾーンからモデル地区を選定し、令和2年度はそれぞれのモデル地区においてほ乳類、鳥類、爬虫類、両生類の調査を行いました。

札幌市の指標種や札幌市版レッドリストの掲載種が確認できたっコー!



札幌市の生物多様性PRキャラクターカッコー先生



調査のようす

### モデル地区と、生息が確認された主な希少種や指標種(※)

(※) 指標種・・・札幌市内で見られる生態系を代表し、その環境の指標となる動植物

各ゾーンをつなぐ生態系  
豊平川



**オシドリ(8月撮影)**  
札幌市版レッドリストのNT(準絶滅危惧)。公園や川などで見られる。



**オオセグロカモメ(8月撮影)**  
北海道レッドリストのNt(準絶滅危惧)。河川や湖沼で見られる。

低地ゾーン  
トンネウス沼



**アカゲラ(6月撮影)**  
札幌市の指標種。森林や市街地の公園等で見られる。

市街地ゾーン  
平岡公園



**エゾアカガエル(8月撮影)**  
札幌市の指標種。森林や草地の水辺で見られる。

山地ゾーン  
無意根山

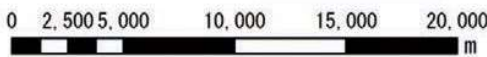


**エゾサンショウウオ(5月撮影)**  
札幌市版レッドリストのNT(準絶滅危惧)。池や溪流沿いの緩やかな流れなどで見られる。

山麓ゾーン  
白旗山



凡例	
■	山地ゾーン
■	山麓ゾーン
■	市街地ゾーン
■	低地ゾーン



## 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける19施設（令和3年10月現在）及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

令和2年度は、「いきものつながりオンラインクイズラリー2020」を7月23日～8月31日まで開催しました。期間中、298名の参加がありました。

**SAPP\_RO**  
いきものつながり  
オンラインクイズラリー  
2020  
令和2年 7/23(木)～8/31(月)

動物園や水族館などのホームページを巡り、クイズパズルを完成させよう！

応募方法①  
各の二次元QRコードにアクセスし、応募フォームに入力しよう！

応募方法②  
応募先にアクセスし、登録IDを入力し、質問8が正解に答えてもらう！

正解者の中から抽選で120名様に素敵な賞品(※)が当たるかも！

生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク施設一覧

- 札幌市水産記念館
- 札幌市円山動物園
- 札幌市下水道科学館
- 札幌市環境プラザ
- 札幌市博物館活動センター
- 札幌市平岡樹芸センター
- サンピアザ水族館
- 北海道博物館
- 札幌市豊平川さけ科学館
- 札幌市保養センター駒岡
- 札幌市青少年山の家
- 滝野自然学園
- 札幌市北方自然教育園
- サッポロピリカコタン
- 札幌市定山溪自然の村
- 札幌市動物管理センター

### 活動拠点

札幌市水道記念館、札幌市円山動物園、札幌市下水道科学館、札幌市環境プラザ、百合が原公園、サッポロさとらんど、札幌市豊平公園緑のセンター、札幌市博物館活動センター、札幌市平岡樹芸センター、サンピアザ水族館、北海道博物館、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市保養センター駒岡、札幌市青少年山の家、滝野自然学園、札幌市北方自然教育園、サッポロピリカコタン、札幌市定山溪自然の村、札幌市動物管理センター

## 活動拠点における取組

### 平岡樹芸センター

平岡樹芸センターは、故竹澤三次郎氏から土地と樹木の寄贈を受け日本庭園や庭木の相談所などを整備し昭和59年に開園しました。園内には約3,000本のイチイのほか、8種類約700本のモミジ類が植栽され、秋には燃えるような紅葉の景観を提供します。

また、春から秋にかけて、樹木管理の講習会を実施し、市民緑化の普及を目指すとともに、園内で発生した剪定枝や落ち葉はリサイクルを図り、園内へ再利用を行うなど循環型の維持管理に取り組み、今後も継続していきます。

なお、イチイの根を食害するコガネムシの幼虫抑制のため、農薬を使用せず毎年7月に手作業での成虫駆除をボランティアと協働で行っております。



◀平岡樹芸センターのページ



### 動物管理センター

札幌市動物管理センターは、「人と動物が共生する社会の実現～人と動物が幸せに暮らせるまち・さっぽろ～」の実現を目標とし、ペットに関する相談対応や迷子・放棄動物の収容、譲渡を行っている施設です。

生物多様性保全につながる取り組みとしては、ペットの適正な飼養について普及啓発を行う中で、終生飼養を呼びかけることで外来生物の人為的拡散の防止にも寄与しています。

現在、(仮称)札幌市動物愛護センターへの建て替えを計画しています(令和5年度オープン予定)。人と動物にぬくもりのある親しみやすい空間を提供し、気軽に訪れることができる施設を目指しています。



▲動物管理センターのページ



## 生物多様性さっぽろ応援宣言

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成27年9月より、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいる企業・団体を、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」として登録し、札幌市がその取組をPRして、企業・団体のみなさまの取組を支援する制度「生物多様性さっぽろ応援宣言」を開始しました。

令和3年10月現在で、116企業、26団体が登録しています。

生物多様性  
さっぽろ応援宣言のページ▶



## 応援宣言企業

116企業

- |                         |                              |                               |                   |
|-------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------|
| ●赤帽 シェルバ                | ●株式会社小林サイクル商会<br>(オニキス札幌中央)  | ●株式会社長大                       | ●丸富テント工業株式会社      |
| ●赤帽田中館運送店               | ●株式会社サジェコ                    | ●株式会社ディスプレイセンター北創             | ●マルホン北英建設株式会社     |
| ●株式会社アミノアップ             | ●株式会社札幌今村電機                  | ●デリシャス株式会社                    | ●マルミプラス株式会社       |
| ●浅野建設株式会社               | ●株式会社札幌東亜エンジニアリング            | ●株式会社東亜エンジニアリング               | ●株式会社ミスターブルー      |
| ●株式会社あづまや質店             | ●一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団          | ●株式会社東急コミュニティー 北海道支店          | ●株式会社宮田組石工        |
| ●株式会社アドパコム              | ●札幌大同印刷株式会社                  | ●道邦工業株式会社                     | ●ムトウ建設工業株式会社      |
| ●株式会社アミノアップ             | ●公益財団法人札幌市公園緑化協会             | ●株式会社トーエイ                     | ●明和工業株式会社         |
| ●荒井建設株式会社 札幌支店          | ●株式会社さっぽろ自然調査館               | ●株式会社ドーコン                     | ●森山泰志税理士事務所       |
| ●イオン北海道株式会社             | ●株式会社札幌ドーム                   | ●西松建設株式会社 札幌支店                | ●安田興業株式会社         |
| ●石上車輛株式会社               | ●株式会社札幌リフォームセンター             | ●株式会社 日水コン 北海道支所              | ●雪印種苗株式会社         |
| ●有限会社エースメンテック           | ●三兼建設工業株式会社                  | ●日本航空株式会社                     | ●雪印メグミルク株式会社      |
| ●株式会社エコ・サッポロ            | ●システムサービス株式会社                | ●日本信号株式会社 北海道支店               | ●ユニオンデータシステム株式会社  |
| ●株式会社エコテック              | ●株式会社 四宮造園                   | ●日本緑化工株式会社                    | ●株式会社ココロコン        |
| ●株式会社エコニクス              | ●株式会社昭和陶業                    | ●株式会社花の八幡屋                    | ●横浜植木株式会社 北海道支店   |
| ●エコオフィスジャパン株式会社         | ●株式会社水工技研                    | ●株式会社 日立ソリューションズ東日本           | ●株式会社リベース         |
| ●蝦夷工業株式会社               | ●杉原建設株式会社                    | ●富士ゼロックスシステムサービス株式会社<br>北海道支店 | ●株式会社ローソン         |
| ●FRSコーポレーション株式会社        | ●鈴木総合住設                      | ●株式会社プリプレス・センター               | ●札幌新聞輸送株式会社       |
| ●株式会社FF                 | ●株式会社鈴木東建                    | ●株式会社ホクスイ設計コンサル               | ●北土建設株式会社         |
| ●株式会社大庭組                | ●生活協同組合コープさっぽろ               | ●株式会社北洋銀行                     | ●丸高北進建設株式会社       |
| ●岸産業株式会社                | ●株式会社セイショウ                   | ●株式会社北海コンノ急送株式会社              | ●株式会社水章工業         |
| ●株式会社キタデン               | ●正電テクノ                       | ●株式会社ゼータセグメント                 | ●株式会社北海道造園コンサルタント |
| ●協友建設工業株式会社             | ●株式会社セ・プラン                   | ●株式会社北海道アルバイト情報社              | ●共創技建株式会社         |
| ●クボタ環境サービス株式会社<br>北海道支店 | ●株式会社セブン-イレブン・ジャパン<br>北海道ゾーン | ●北海道衛生工業株式会社                  | ●勇建設株式会社          |
| ●株式会社熊谷組 北海道支店          | ●株式会社ソフトガーデン                 | ●株式会社北海道建設新聞社                 | ●株式会社カズサッポロ       |
| ●株式会社建設環境研究所 札幌支店       | ●株式会社大伸                      | ●北海道トンボ株式会社                   | ●合同会社小林荷役         |
| ●株式会社建設技術研究所 北海道支社      | ●大同舗道株式会社                    | ●北海道フーズ輸送株式会社                 | ●北双建設株式会社         |
| ●株式会社耕電設 札幌支店           | ●株式会社タイヤリサイクル北海道             | ●マルコー開発株式会社                   | ●株式会社エクセル         |
| ●株式会社コクサク               | ●株式会社 田中組                    | ●丸周中村土木                       | ●株式会社古田配管工業所      |
| ●ことばポーターなぐね             |                              | ●丸昇 佐々木電気                     | ●東急建設株式会社 札幌支店    |
|                         |                              |                               | ●株式会社北海メンテナンス     |

## 応援宣言団体

26団体

- |                                      |                              |                    |                     |
|--------------------------------------|------------------------------|--------------------|---------------------|
| ●旭山記念公園市民活動協議会                       | ●(公社)札幌消費者協会「北海道エゾシカ<br>倶楽部」 | ●八紘学園 耕機科          | ●NPO法人北海道森林ボランティア協会 |
| ●NPO法人エゾシカネット                        | ●札幌南ふゆみずたんぼの会                | ●地縁団体 藤ヶ丘西町内会      | ●北海道ボランティア・レンジャー協議会 |
| ●NPO法人カラカネイトンボを守る会<br>-あいあい自然ネットワーク- | ●札幌ワイルドサーモンプロジェクト            | ●北海道希少生物調査会        | ●NPO法人ポロクル          |
| ●NPO法人札幌歩こう会                         | ●札幌市立定山溪中学校                  | ●北海道グリーン購入ネットワーク   | ●廉舞国蝶オムラサキ保存会       |
| ●NPO法人札幌カラス研究会                       | ●食輪の会                        | ●北海道自然観察協議会        | ●NPO法人藻岩山きのご観察会     |
| ●サッポロさとらんど                           | ●手稲さと川探検隊                    | ●公益財団法人北海道自然体験学習財団 | ●公益社団法人北海道森と緑の会     |
|                                      |                              | ●北海道シマフクロウの会       | ●一般社団法人北のワニ舎        |

## 登録団体

### 公益社団法人北海道森と緑の会

公益社団法人北海道森と緑の会は、「緑の募金」活動を通じて、①豊かな生態系を育む環境緑化の推進、②森の大切さ、森の楽しさを伝える「木育」の推進、③林業技術や山つくり情報の提供などの事業を行っています。

北海道らしい豊かな森を守り育て、未来に引き継ぐため、森林・林業関係者のみならず、広く地域住民との協働を図り、これからも生物多様性の保全と、持続可能な森林づくりに向けた活動を続けていきます。



公益社団法人  
北海道森と緑の会  
のページ▶



登録企業

勇建設株式会社

昭和31年に創業した勇建設は「豊かな自然を大切にし、地球環境の保全に貢献する」という行動憲章のもと、事業活動を通じて「自然との共生」、「自然環境の保全」、「環境負荷の低減」に努めています。当社創立記念日には毎年社員全員で会社周辺の清掃活動を行うほか、種から花を育て社屋前の植樹帯に花苗を植える「コミュニティーガーデンプロジェクト」、中央区道路アダプト活動、公園ボランティア清掃活動、植樹等の環境美化活動を地域の方々と共に実施しています。これからも積極的に環境保全活動に取り組むとともに生物多様性に配慮した活動を続けていきます。



勇建設  
株式会  
社のペ  
ージ



東急建設株式会社 札幌支店

当社は終戦まもなく首都東京の復興のために創業されました。現在、北海道内では新幹線のトンネル工事などのインフラ整備をはじめ、多種多様な工事を請け負っています。例年、道内の東急G総出の「豊平川クリーン作戦」という清掃活動に参加していますが、地球温暖化、気候変動による大規模な自然災害に直面した今、当社は「0へ挑み、0から挑み、環境と感動を未来へ建て続ける」というビジョンを掲げ環境復興への挑戦を始めます。



▲東急建設  
株式会  
社のペ  
ージ

株式会社北海メンテナンス

昭和41年に設立し、公共工事・民間工事を地域に密着し邁進して参りました。当社では、循環型社会の形成を推進するべく、廃棄物の適正処理やCO2発生抑制の活動を行うほか、地域の美化・リサイクル活動・環境負荷の低減を積極的に行います。今後、生物多様性に係る再認識を全従業員に促し、意識した行動により生物の多様性が維持されるべく、新たな活動を考察し、環境に配慮した行動を持続して参ります。



株式会  
社  
北海メン  
テナンス  
のペ  
ージ



その他の札幌市の取組

3ページから4ページで紹介した以外にも、札幌市では生物多様性の保全につながる様々な取組を行っていますので、その一部を紹介します。その他の取組については、右の二次元コードから札幌市ホームページの「生物多様性の保全」ページをご覧ください。



▲札幌市の取組  
一覧のペ  
ージ

環境政策課・次世代自動車活用促進事業

継承

走行時のCO2排出量が少なく、災害時に電源としても活用可能な電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)など次世代自動車の普及を促進させるため、補助制度の運用や公用車を活用した普及啓発を実施しています。

市内自動車台数に占める次世代自動車の割合増加に伴い、CO2排出量が減ることから、温暖化を抑制するとともに地球環境の保全につながります。令和2年度は、次世代自動車やV2H充電設備計74台に補助を行い、直接的には約82tのCO2排出削減につながりました。また、札幌市総合防災訓練においてFCVの公用車を展示するなどのPRを行いました。



▲次世代  
自動車活用  
促進事業  
のペ  
ージ

公園緑化協会・キラリ!さっぽろ公園30選2020

理解 活用

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の公園・緑地で撮影した緑や花、憩いのひととき、自然とのふれあい等がテーマのフォトコンテストを開催しました。最年少は10歳、最年長は86歳と幅広い世代から638点の作品が集まりました。「公園の小川から札幌の生態系が感じられた」「札幌の緑あふれる中での子育ての魅力が伝えたい」など応募理由も様々です。グランプリは早朝の前田森林公園を撮影した作品で、一瞬の空の表情を捉えようと日の出を待つ作者の思いが伝わってきます。全入賞作品は札幌市都市緑化基金WEBサイトで公開しています。



▲札幌市都市緑化基金  
のペ  
ージ

# 生物多様性 Q&A

## Q 「ワンヘルス」って何？

A 人の健康、動物の健康、環境の健康(健全性)は、生態系の中で相互に密接につながり、強く影響し合う一つのもの「ワンヘルス」(One Health)とみなし、関係者が連携してその解決に取組むという概念を表す言葉のことで、国際的にも認識が高まっており、具体的には人と動物の共通感染症対策、薬剤耐性菌対策等の取組が推進されています。

# 生物多様性さっぽろビジョンの進行管理

生物多様性さっぽろビジョン(P2参照)では、推進する施策として立てた「理解する」、「協働する」、「継承する」及び「活用する」の4つの柱ごとに成果指標を定めて、進行管理を行っています。

### ■指標及び進捗状況

施策の柱	指標	基準値 (平成23年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)
理解する	生物多様性の理解度(意味を知っている人の割合)	33.1%	28.8%	36.6%	33.7%	34.8%	28.6%	33.5%	37.2%	35.1%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合	市民: 5.0% 事業者: 40.4%	市民: 4.4% 事業者: 44.4%	市民: — 事業者: 64.3%	市民: — 事業者: 66.6%	市民: — 事業者: 64.5%	市民: 3.1% 事業者: 58.9%	市民: — 事業者: 51.1%	市民: — 事業者: 46.6%	市民: 3.3% 事業者: 53.6%	市民: 10% 事業者: 60%※1
継承する	主な生息・生育地における指標種の生息状況	—	—	—	—	—	—	—	—	○	生息し続けていること、又は増えていること
活用する	自然と積極的に触れ合っている市民の割合	24.2%	19.5%	—	—	—	27.0%	—	—	27.4%	35%
	市民の地産地消や環境配慮商品の利用促進	地産地消: 65.7% 環境配慮商品: 27.4%	地産地消: 59.3% 環境配慮商品: 25.0%	—	—	—	地産地消: 60.7% 環境配慮商品: 18.1%	—	—	地産地消: 67.2% 環境配慮商品: 19.6%	地産地消: 75% 環境配慮商品: 50%
	事業者の原材料調達時の配慮の促進	30.00%	57.5%	69.4%	44.7%	50.0%	59.4%	52.6%	50.0%	52.2%	50%

※1「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)については、平成27年度の目標値。

※2「主な生息・生育地における指標種の生息状況」(継承する)については、選定した指標種のモニタリング調査により生息状況を把握する。

# 目標値に対する評価

令和2年度を目標年次と定めた各成果指標について、市民アンケート及び企業アンケートにより達成度を確認しました。

「生物多様性の理解度」(理解する)は35.1%と目標値の60%を大幅に下回りました。また、「生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合」(協働する)は市民3.3%、事業者53.6%と目標値に届きませんでした。「主な生息・生育地における指標種の生息状況」(継承する)については、これまでの市民参加型指標種調査、自然環境調査等により、36種全ての指標種の生息を確認しています。「活用する」の指標については、「自然と積極的に触れ合っている市民の割合」及び「市民の地産地消や環境配慮商品の利用促進」は目標値を下回りましたが、「事業者の原材料調達時の配慮の促進」は目標値の50%を上回り、目標を達成しています。

現在の成果指標については、目標年次を経過したことから、今後の指標及び目標値について検討していきます。

# 今後の取組

今後は、多くの市民が生物多様性の理解を深める機会を創出するとともに、よりわかりやすく伝える工夫をしていきます。また、生物多様性の保全・持続可能な利用に向けた実践行動として、外来種対策や希少種の保全の取組も併せて行っていきます。その他、生物多様性さっぽろビジョンの改定に向けた検討を進めます。



● 編集・発行 令和3年(2021年)10月

札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階  
TEL 011-211-2879 FAX 011-218-5108

札幌市 生物多様性  検索 <https://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/>

札幌市の生物多様性PRキャラクター「カッコー先生」  
公式Twitter開設しました。 公式アカウントはこちらから→



SAPPORO

